2022 年 2 月 8 日

News Release

Hyundai 日本の乗用車市場に ZEV で参入を発表

• EV「IONIQ 5（アイオニック ファイブ）」、FCEV「NEXO（ネッソ）」の 2 車種を投入
• ワンストップ＆オンラインによる顧客体験の提供, 5 月からオーダー受付開始
• DeNA SOMPO Mobility, Anyca との連携による新しいモビリティ体験の提供

Hyundai Motor Company (本社：大韓民国ソウル市、代表取締役社長：張在勲)の 100％子会社である Hyundai Mobility Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市西区）は、2022 年 2 月 8 日（火）日本の乗用車市場への参入を発表しました。日本市場には環境に配慮した ZEV（Zero Emission Vehicle）EV「IONIQ 5」、FCEV「NEXO」の 2 車種を投入します。オンラインで完結する、時間と場所の制約を受けないスマートな車両購入経験をご提供します。自社ウェブサイト（www.hyundai.com/jp）およびアプリにて、2022 年 5 月よりオーダー受付開始、7 月からデリバリー予定です。

市場参入の背景

2009 年 12 月の日本の乗用車市場からの撤退後、Hyundai は世界各国でビジネスを拡大し、デザイン・性能・品質、さまざまな面で進化を重ねてきました。 世界規模で高まる環境配慮への意識や、一人ひとりが個人の価値観を重視した商品選択を行う傾向の高まりを背景に、日本社会の変化に対応する商品として ZEV 2 車種を投入します。

また、日本での乗用車市場への参入と新しいビジネスモデルの構築にあたり、日本法人の社名を「現代自動車ジャパン株式会社」から「 Hyundai Mobility Japan 株式会社 」へと変更いたしました。環境への配慮を意識した ZEV 販売、ウェブサイトとアプリを組み合わせたオンラインプラットフォームの展開など、「モビリティ全般に対してサービス」を提供するモビリティカンパニーとして進化していく思いを込めております。

日本市場における 3 つのモビリティ戦略

1）Smart Experience of Mobility

モビリティに接するすべてのお客様にオンライン販売をはじめとするスマートな顧客体験を提供

昨今のコロナ禍による対面接客への懸念や、スマホネイティブの若年層消費者へのコミュニケーションの観点から、これまで以上にオンライン販売のニーズは高まっており、時間と場所の制約を受けないスマートな車両購入経験をオンライン完結で、また、ワンプライス販売によるお客様にわかりやすい購入環境をご提供します。

車両選びから、試乗予約、見積もり、注文、決済、配送情報の確認まで全てをオンラインで完結します。「One ID」によるシームレスな独自のプラットフォームをご用意いたします。購入体験、そしてその後の車両点検や整備のサポートは全て、1 つの ID でご利用いただけるように統合し、全ての機能をシームレスにご利用いただけます。

ZEV に特化したリアルな体験拠点として、試乗や購入相談、点検、整備をワンストップでご提供する「Hyundai カスタマーエクスペリエンスセンター」を、2022 年夏に神奈川県横浜市に開業予定です。その後、全国の主要地域に各地の協力整備工場と連携して展開する計画です。さらに、全国に対応可能なロードサービス体制により、いつでも、どこでも顧客最優先のサポートが可能な体制を構築します。

2）Sustainable Mobility: EV「IONIQ 5」、FCEV「NEXO」という ZEV のみに絞った車種展開

日本市場においては、電気自動車、燃料電池車の ZEV のみを販売し、カーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

EV 「IONIQ 5（アイオニック ファイブ）」

「IONIQ 5」は、ジョルジェット・ジウジアーロ(Giorgetto Giugiaro) による 1974 年型ポニーコンセプトをオマージュしたモデルです。Hyundai の過去と現在、そして未来を繋ぐ「Timeless value、時間を超えた価値」というコンセプトから生まれました。さらに、サステナブルかつ革新的な機能の搭載や広い空間性を実現したことで、新しい EV エクスペリエンスをご提供します。

【デザイン】
・独創的なデザインキーとなる「パラメトリックピクセル」を取り入れた、先進的なエクステリアデザイン
・3 メートルにおよぶホイールベースによりゆとりのある室内空間を実現し、スライドコンソール、リラクゼーションコンフォートシート、全座席シートメモリーシステム等を採用

【テクノロジー】
・EV 専用に開発したプラットフォーム E-GMP (Electric Global Modular Platform) の採用
・72.6kWh の大容量バッテリー搭載モデルは、１充電航続距離 618 ㎞を実現（WLTC モード/自社測定値）
・車両の電源を電気製品に供給する V2L (Vehicle to Load)、自宅に電力を供給する V2H (Vehicle to Home)の搭載により、EV のある新しいライフスタイルを提案

【安全性】
・ Hyundai SmartSense をはじめ、先進の ADAS (Advanced Driver Assistance System) 機能を搭載し安心で快適なモビリティライフを提供

【ローカライズ】
・日本で最も普及した急速充電システム CHAdeMO を採用し、90kW 級の充電器を使用の場合、約 32 分で 10%から 80%まで充電が可能
・ウィンカーレバーの右側への配置など、日本マーケットに適したローカライズ

【価格／消費税込み】
IONIQ 5：4,790,000 円、IONIQ 5 Voyage：5,190,000 円、
IONIQ 5 Lounge：5,490,000 円、IONIQ 5 Lounge AWD：5,890,000 円

https://www.hyundai.com/jp/ioniq5

FCEV 「NEXO（ネッソ）」

独自の技術で開発した「FCEV 専用システム」は、2019 年のアメリカの「WardsAuto 10 ベストエンジン」に選定され、クリーンであるのみならず、その安全性と耐久性も評価されました。水素タンクの衝突安全性を確保するため、タンク周辺部には衝撃に強い高強度構造を採用しています。

【デザイン】

・川の流れにより角が削がれ、丸みを帯びた石＝"リバーストーン"からインスピレーションを得た流麗なデザイン

【テクノロジー】

・水素と大気中の酸素で電気を生成し、モーターで走行することによる汚染物質を排出しない Zero Emission Vehicle

・3 段階の空気浄化システムにより走行中の大気汚染を除去

・1 回/約 5 分の充填で約 820 キロの航続距離を実現（WLTC モード/自社測定値）

【安全性】

・ Hyundai SmartSense をはじめ、先進の ADAS (Advanced Driver Assistance System) 機能を搭載し安心で快適なモビリティライフを提供

【価格／消費税込み】

7,768,300 円

https://www.hyundai.com/jp/nexo

3. Freedom in Mobility

カーシェアプラットフォーム Anyca（エニカ）との協業による移動の自由を提供

所有だけではなく、共有、すなわちシェアリングという形でモビリティライフを楽しんでいただけるビジネスモデルを、パートナー企業である株式会社 DeNA SOMPO Mobility、株式会社 DeNA SOMPO Carlife との協業により展開する予定です。

Anyca のカーシェア限定で「IONIQ 5」「NEXO」の体験機会を提供

2022 年内に「IONIQ 5」 100 台、「NEXO」20 台を「Anyca Official シェアカー」に投入し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。「IONIQ 5」は 2 月下旬からサービス開始を予定しており、より多くの方々に体験機会がご提供できるキャンペーンも展開いたします。

・所有と共有の連携による MaaS-Sales 融合事業を展開

車両をご購入いただいたお客様には、自身の車を Anyca でシェアすることで維持費を軽減でき、他の利用者の購入まで連携する「MaaS-Sales」融合型のサービスを展開いたします。「IONIQ 5」と「NEXO」をご購入いただいたお客様は、Anyca のプラットフォームにオーナー登録していただくことができます。このプログラムを利用して Hyundai の車両を体験したお客様がその後車両をご購入された際は, シェアした オーナーとご購入者双方がインセンティブを得られるプログラムも展開予定です。

・ サブスクリプション展開

株式会社 DeNA SOMPO Carlife と協業し、サブスクリプション商品を「SOMPO で乗ーる」を通じてご提供します。

ブランドコミュニケーション

LIFE MOVES.

あなたは、変化し、繋がり、新しい世界を環る。

Hyundai は、日本のお客様にご提供する新しいライフスタイルを「LIFE MOVES.」と名付け、3 つのモビリティ戦略をもって「LIFE MOVES. 」を具現化し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献しつつ、お客様に新しい価値をご提供し続けてまいります。

Lifestyle Co-Creative Project

「LIFE MOVES.」の実現にむけて、コミュニケーションの分野では、五十嵐創氏、 石川俊介氏、大田由香里氏、工藤桃子氏、長坂常氏 の 5 名のクリエイターと共に様々な体験とインスピレーションを与えるライフスタイル提案型プロジェクトをスタートいたします。

1）“LIFE MOVES.” People Project

働く・遊ぶ・纏う・食べる・住まうの 5 つの分野の専門家と Hyundai とのコラボレーションによる、新たなライフスタイルやそのために必要なプロダクト・ツアーを共同で開発いたします。開発したプロダクトやツアーは、今後、実際にお客様にご体験いただけるよう展開を予定しております。

2）Hyundai House Harajuku

“LIFE MOVES.” People Project をはじめとした、Hyundai の ZEV から生まれる様々なライフスタイルをご体感いただくための POP UP スペース「Hyundai House Harajuku」を 2 月 19 日（土）より約 3 ヶ月にわたって開設いたします。「IONIQ 5」「NEXO」を五感で楽しむことができるインスタレーション、試乗や購入相談、またコミュニケーションの拠点となるラウンジなど様々なコンテンツをお楽しみいただけます。

名称　：Hyundai House Harajuku
所在地　：東京都渋谷区神宮前 6 丁目 35-6　Jing（ジング）原宿
開業期間　：2022 年 2 月 19 日（土）~5 月 28 日（土）
営業時間　：平日 11:00～20:00　休祝日 10:00~20:00 / 入場無料
URL　：https://www.hyundai.com/jp/brand/brand-space

Hyundai（ヒョンデ）について

1967 年に設立された Hyundai Motor Company は、世界 200 カ国以上でトップクラスの自動車とモビリティサービスを提供しています。2019 年に 440 万台以上の自動車を販売し、現在、世界で約 12 万人の従業員を雇用しています。また、より持続可能な未来の到来を見据えて製品ラインアップを強化するとともに、現実のモビリティ課題に対する革新的なソリューションを展開しています。Hyundai は、このプロセスを通じて人と人とのつながりを活性化し、お客様に質の高い時間をご提供するスマートモビリティソリューションにより、「Progress for Humanity（プログレスフォーヒューマニティ）」＝人類のための進歩を促進することを目指しています。

会社名　：Hyundai Mobility Japan　株式会社
設立　：2000 年 1 月 7 日
本社　：神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-6-1 みなとみらいセンタービル 16 階